

第53号

しまらや杉

川之石高校PTAだより

令和5年12月20日発行

発行／川之石高校PTA

編集／川之石高校PTA広報委員会

印刷／平家印刷

川之石高校 HPアドレス

<http://kawanoishi-h.esnet.ed.jp/cms/>



QRコード

体育祭 9月2日(土) 総合優勝・競技・応援優勝 紅炎



紅炎団長のコメント



今年の体育祭は、競技・応援・装飾のどれをとっても、各団の優劣がつけられないほど素晴らしいものでした。各団の思いは違えど、掲げた目標に向かって取り組んできた結果だと思えます。三年次生が中心になって、一、二年次生を統率し、一、二年次生は真っ直ぐについてくれたことが大きかったと言えます。

私が一番嬉しかったのは、その人の得意とすることが競技で発揮でき、改めてその人の良さを知り、認め合える瞬間があったことでした。三年間共に過ごしてきた同級生の新たな魅力や、下級生の意外な一面を発見したときに、チームで褒めたり喜んだりする場面があり、心が熱くなったのを覚えています。体育祭に限らず、学校生活のあらゆる場面で発揮されると最高だと思います。(兵頭 胡太郎)



総合2位 青龍



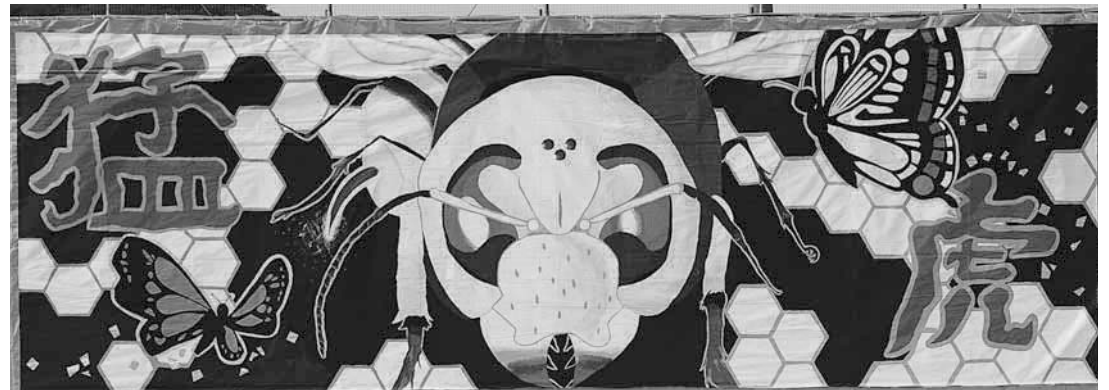
青龍団長のコメント

今回の体育祭で、仲間との絆や、コミュニケーションの大切さを学ぶことができました。特に、三年次生は暑い夏の時期から、装飾・応援・衣装に分かれて、準備してくれました。一、二年次生は三年次生に負けじと、体育祭を盛り上げてくれました。団の仲間と一緒に、最後まで戦えて、本当に嬉しかったです。力不足の団長でしたが、全力を尽くしました。

今年も午前中開催でしたが、青龍団全員で盛り上がり、最高の思い出になりました。ありがとうございました。
(青龍団長 兵頭 大地)



総合3位 装飾優勝 猛虎



猛虎団長のコメント

今年の体育祭は、三年間で一番楽しかったです。結団式で挨拶した「とりあえず全力で楽しむ団長」、この言葉の通り、誰よりも楽しみ、体育祭を盛り上げることができました。最初は、団長をちゃんとできるか、たくさんの不安がありました。しかし、他のリーダーや団員、先生方に支えていただき、最後までやり遂げることができました。そして、装飾と集団演技で二冠を達成することができました。一・二年次生ともに来年度は、今年以上に盛り上げられるよう頑張ってください。ありがとうございました。

(猛虎団長 大久保 天翔)





せーのっ!
せーのっ!



これまでの練習の成果を発揮することができました!

川高生大活躍！ (2学期以降)

四国地区介護技術コンテスト 優秀賞 3年次 福井 奈那 岡田 優月 平家 琉衣

私たちは、利用者さんの目線で、負担にならない介護の方法を何度も話し合いました。その結果、協力して全力を出し切ることができました。介護は相手のことを考えて実践しなければならないことを再確認することができました。先生方や後輩にも見てもらい、アドバイスをもらうことができ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



愛媛新聞掲載「笑顔のえひめ賞」 3年次 西村 侑真

今年の1月に出場した第23回シーフード料理コンクールで農林水産大臣賞を受賞したことで、愛媛県庁で愛顔のえひめ賞をいただきました。授業として取り組んだことがこんなにも多くの賞につながり、驚きと喜びの気持ちでいっぱいです。

これからの生活でも、努力することや感謝することを忘れずに地元八幡浜に貢献できるよう頑張りたいです。



令和5年度暴力団追放運動ポスター 優秀賞 2年次 成田 青空

私は、令和5年度暴力団追放運動ポスターで優秀賞を頂きました。ポスターを作製する際に、詐欺や受け子について調べ、知識を深めていきました。その上でなぜ詐欺に加担してしまうのか、どんな気持ちで詐欺をするのかを考え、ストーリーを作っていました。このような経験をするのができてとても嬉しいです。この経験を将来に生かしていきたいです。



書道部

第22回岐阜女子大学書道展 準大賞 3年次 行天 小雪

今回の「開通褒斜道刻石」という古典は、2年次の時からずっと書き続けていました。先生に指導していただき達成することができました。そして、このような賞を受賞することができて嬉しかったです。感謝の気持ちを持って日々取り組んでいきたいです。

第24回高校生国際美術展(書道の部) 奨励賞 3年次 山口 直子

3年次になって部活を引退する最後の最後にこの賞をいただけて、とても嬉しく思います。かすれや太細などを意識して書きました。納得のいく作品ができたのは、先生の日々のご指導のおかげです。達成感を味わうことができたのでとても嬉しかったです。

陸上競技部

●第25回 四国高等学校新人陸上競技選手権大会 女子5000m競歩 第1位

(記録：24分11秒92)大会新記録

●JOCジュニアオリンピックカップ 第17回U18陸上競技大会

女子3000m競歩 第5位

(記録：13分59秒17)

県高校新記録、県U20新記録

2年次 岡田 佳乃

四国新人大会では大会新記録を出して優勝、JOC大会では8位に入賞することが目標でした。四国新人では課題であった中盤にもタイムを落とすことなく最後まで粘り強く歩くことができ、大会記録を10秒以上更新し、優勝することができました。JOC大会では積極的なレースを心掛けた結果、初の全国大会入賞を果たしました。どちらも目標を達成できてとても嬉しかったです。来年はインターハイ3位入賞を目標にこれまで以上に努力したいです。



編集後記

学校のイチヨウの葉も黄色く色づき、秋を感じる季節から、イチヨウの葉が道に落ち、じゅうたんのようになっていているのを見掛けるようになりました。

コロナウィルス感染症も、今年の五月から2類から5類となり規制が緩和され、停止されていた学校行事や、地域行事も再開となり、親として、子どもたちが生き生きと日々の学校生活を楽しんでいく姿は、とても嬉しくまた安心も感じています。九月に行われた体育祭は半日でしたが、先生と全校生徒が一丸となり、応援している姿や、競技している姿に笑顔が溢れており、観戦している私たちも自然に笑顔になりました。この笑顔が続くことを願っています。

また、我が家も2人の息子が卒業し、今年度は娘が卒業する年となり、少し寂しい気もします。3年間学校生活で得たものを社会生活で活かせるように願っています。

